

いきいき新聞

5月号

津山市地域づくりサポートセンター
津山市大田920
リージョンセンター内
電話27-0600

高倉自治協議会

新体制

(仮称)高倉地域づくりの会

高倉のこれから

高倉自治協議会は、平成25年から5年間の活動指針として、「高倉地域づくり未来ビジョン」を策定し、平成29年には「農地の利活用」「子どもの居場所づくり」「高齢者の心身の健康づくり」「地域内外への広報活動」を目的とした部会を立ち上げ、活動をしてきました。

そして令和元年に次年度へ向けた準備委員会を立ち上げ、その中で地域の意見を拾い上げる住民アンケートを実施しました。アンケートや懇談会の結果を基に、令和2年にこれまでの3部会に加え、「安全対策部会」が設定されました。地域のみなさんに親しみやすいように名称も「(仮称)高倉地域づくりの会」に変わる予定です、新たな体制となります。今後も「住んでよし、いつか帰って来たい高倉」を目指し、継続的に取り組んでいくために話し合いを重ねていきます。

(仮称)高倉地域づくりの会

- 事務局
- 子育て魅力
- 地域の絆
- 安全対策
- 地域振興(食と農)

耕せ！プロジェクトIMO

部会のうちの1つ「地域振興部会(食と農)」では、岡山県美作高等学校×(仮称)高倉地域づくりの会「耕せ！プロジェクトIMO2020」と題して、美作高校のライセンスコースの3年生を対象に高倉の耕作放棄地を活用し、サツマイモを植えていきます。春にクワで大地を耕し、サツマイモのツルを植え、秋に収穫し、地域の方を招いて「収穫感謝祭」を開催。また、お手伝い隊として地域の困り事の解決に取り組んでいます。この取り組みは、高倉の「耕作放棄地を少しでも減らしたい！有効活用策はないか？地域活性に高校生の



力を借りたい」という想いと、美作高校の「地域に生徒を出して住民の方と交流することにより、心も成長させたい」という想いにより、平成29年から始まりました。昨年はナンバホームセンターで2日間にわたり、生徒たちによるサツマイモの販売が行われ、400キロ以上が売れました！シルクスイートと紅はるかの2種類があり、好みの種類を見つけてもらおうと、ふかし芋と焼き芋の試食もありました。しかも、高倉で採れたサツマイモを美作高校の美作大学コースの生徒が調理した「みまいも



ケーキ」が購入特典として配られました。今年も春に「クワ入れ式」が行われ、生徒が額に汗をかき、一生懸命作業を行いました。トラクターの試乗もあり、とても楽しみにしている生徒もいました。新型コロナウイルスの影響で、学校は休校中(クワ入れ式後)のため、今年は約1000本のサツマイモのツルを、食と農のメンバー、地域の方、地元の学生や美作高校の先生方と出来るだけ作業間隔を開け、植え付けを行いました。秋に沢山の収穫がありますように！

いなか体験 田植え編

NPO法人スマイル・ちわ

令和2年5月13日(水)に津山市加茂町知和のスマイル田んぼで「いなか体験 田植え編」が開催されました。

NPO法人スマイル・ちわは、地域に暮らす一人ひとりがつながり、お互いが支え合い助け合いながら安心して住める、住みよい・明るいむらづくりに寄与することを目的としています。



今回は手ではなく、機械で植えることとなり、スマイル・ちわでも初めての試みとなりました。準備からお手伝いし、捕植などを地域の方から教えていただきながら作業をしました。学校が休校中の高校生たちは「久しぶりに外で作業できて気持ち良かった！」ととても良い笑顔でした。田植えの後は、コシアブラ、タラの芽、お茶の芽、雪の下、スズコ、つくし、ノビル、ミズブキ、タケノコ：と旬の食材をふんだんに使用した昼食を地域のお母さん方が用意してくださり、参加者みんなが楽しく、おいしくいただきました。



田植えの後の食事は格別です！

印刷機あり
有料用紙持ち込み

いきいき新聞
お尋ねください！

センターから
お知らせ

津山市地域づくりサポートセンター開館(再開)のお知らせです。

当センターは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、4月18日から臨時休館としました。この度、緊急事態宣言地域から除外されたことを受け、6月1日から開館(再開)いたします。引き続き、感染予防策に取り組んでいきます。

また人と活動、活動と活動を繋げる拠点として運営していきます。「いきいき相談所」という看板を目印にぜひ気軽に越してください！

